

2024 年度

大分県発達障がい者支援専門員の会

総会

(資料)

1. 開会のことば
2. 会長挨拶
3. 大分県発達障がい者支援センターECOAL 挨拶
4. 議長選出
5. 議事
 - ・ 報告第 1 号 2023 年度活動報告
 - ・ 報告第 2 号 2023 年度会計決算報告
 - ・ 報告第 3 号 2023 年度会計監査報告
 - ・ 2023 年度報告について質疑応答・承認
 - ・ 議案第 1 号 2024 年度活動方針(案)
 - ・ 議案第 2 号 2024 年度会計予算(案)
 - ・ 2024 年度案について質疑応答・承認
6. 議長降壇
7. 事務連絡
8. その他
9. 閉会のことば

会長あいさつ

新型コロナウイルスも昨年の5月には感染症上5類に移行し、我々の社会生活も少しづつ以前の様式を取り戻しつつあります。こうした中、昨年度はSVの会として従来通りの対面式での研修会を計画通り2回（主催研修1回、大分県発達障がい研究会との共催1回）実施することができました。それまでのリモート研修とは違う、会場での一体感を久しぶりに体感することができたことで、私的にはやはり、我々SVの活動はリモートではなく、実際に現場で当事者やそのご家族等に対面することが重要であることを再認識しました。現場で対面して向き合うことで当事者の方、そのご家族の方、また、その方々を支える支援者の方々の困りを直に感じるのが、我々SVの原動力であるのだと考えます。養成研修も今年度で16期生が終了し、SVの会の会員も260名を超えることとなりました。新たな仲間が毎年増えることは会としても喜ばしく、県内の支援の輪がさらに強くなることは大変嬉しく感じます。私自身がSVになった頃に比べると、今は色々な情報が世に溢れています。それは真に正しい情報だけでは無いと感じる場面もあります。我々SVは養成研修で学んだ正しい知識と各々が積み重ねたスキルを活かし、今後も大分県内の当事者やその関係の方々へ正しい情報提供を行う責務があることを再認識してほしいと考えます。そして、SVそれぞれが地域の中でネットワークの中心となり、地域のつながりを支えてほしいと考えています。SV一人ひとりにできることはほんの小さなことでしかないと思いますが、その積み重ねと会員の力が集まれば大きな一歩につながると私は信じています。

我々の役割は地域のネットワークの促進であり、SVがそのネットワークのつなぎ目を担うことだと考えます。様々な社会情勢の変化で地域の状況にも変化がありますが、そうした状況変化をきちんと把握する目を持ちながら当事者の方や地域の中でこれまで以上に求められる存在になれるよう皆さんに大きな期待をしています。

令和6年4月6日

大分県発達障がい者支援専門員の会
会長 相本 雄一郎

令和5年度活動報告

1. 関係機関との連携

事務局である大分県発達障がい者支援センターECOALや大分県、大分県自閉症協会との連携は令和5年度も安定した関係性が維持できたと考えます。

また、令和5年度は大分県発達障がい研究会とも共催で研修会を開催し、研修会では教育関係や療育機関、相談支援事業所の関係者を招いた講演会を開催することで県内の関係機関との連携が深まったものと考えます。あわせて、圏域レベルにおいては地域の保育コーディネーターやペアレントメンター、地域の関係機関とも連携することで、会としての組織だけではなく地域の中でも連携がスムーズにとれるよう取り組めたと考えます。

2. 専門員（SV）のスキルアップ

会の主目的であるSV個々人のスキルの維持・向上については事務局であるECOALと連携し、SVの更新や更新とリンクする研修会について実施できました。今後も、継続した取り組みで会員の方々の意見を取り入れ、会員の方々が望む研修会作りを目指していきたいと考えます。

3. 派遣事業への取り組み

令和5年度も事務局である大分県発達障がい者支援センターECOALと連携し、県事業であるSV派遣事業に積極的に取り組みました。次年度も継続した取り組みでSVの認知度のさらなる向上とSV個々人のスキルアップにつなげていきたいと考えます。

4. 地域課題の調査

コロナ渦での活動の停滞があり、圏域でのSVの活動自体が年度途中からようやく復旧してきた状況となり、当初想定していた地域課題の調査までは取り組めていない結果となりました。今後は通常の圏域活動を通してそれぞれの地域課題があれば圏域でとりまとめながら役員会等で情報共有していきたいと考えます。

実施日	時間	活動内容	会場
R5. 4. 2		自閉症啓発デー	J:COM ホルトホール大分 大会議室
	10:00-12:00	SVの会 総会	
R5. 5. 13	10:00-12:00	リーダーチャート研修会	大分県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス 大会議室
R5. 6. 1	14:00-16:00	大分県発達障がい者支援センター 連絡協議会	Zoom
R5. 6. 17	10:00-12:00	役員会(会長・副会長・各圏域リーダー・事務局)	コンパルホール 311会議室
	13:00-13:30	大分県発達障がい者支援専門員 養成研修 初級 開講式	コンパルホール 300会議室
R5. 9. 9	10:00-12:00	役員会(会長・副会長・各圏域リーダー・事務局)	大分県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス 小会議室1
R5. 9. 20	9:30-11:30	YouTube撮影(座談会) 出演者:立教大学現代心理学部 教授 大石 幸二先生 大分県発達障がい者支援センター センター長 五十嵐 猛 SVの会 会長 相本 雄一郎	社会福祉法人 萌葱の郷 わくわくかん
R5. 10. 5	14:00-16:00	大分県発達障がい者支援センター 連絡協議会	Zoom
R5. 11. 11	10:00-12:00	役員会(会長・副会長・各圏域リーダー・事務局)	大分県立芸術文化短期大学 人文棟 201講義室
R5. 12. 16	19:30-21:30	主催研修会講師 懇親会+忘年会	和食ダイニング 牧
R5. 12. 17	10:00-15:00	SVの会 主催研修会 テーマ:発達障がいの方のネット(SNSやゲーム等)との上手な付き合い方 講師:愛知県医療療育総合センター 中央病院子どものこころ科(児童精神科) 部長 吉川 徹 先生	大分県立芸術文化短期大学 人文棟 大講義室
R6. 1. 14	10:00-16:30	第15回 大分県発達障がい研究会(SVの会・ECOAL共催) テーマ:発達障がいにおける支援体制づくり~人材育成について~ 講師:大分県教育センター 指導主事 後藤 みゆき 先生 社会福祉法人 別府発達医療センター 係長 庄 真実 先生 社会福祉法人 清流会 統括本部長 石川 博一 先生	大分県立芸術文化短期大学 人文棟 大講義室
R6. 3. 5	14:00-16:00	大分県発達障がい者支援センター 連絡協議会	J:COM ホルトホール大分 304会議室

※更新講座・研修については、養成研修と併せ予定通り実施している。

圏域	人数	活動内容	
東部	別府	31	年5回連絡会を開催。保育コーディネーターと連携し、事例検討会等を行っている。SV同士の連携や、各所属について座談会形式にて情報交換を実施。
	国速杵	20	年6回連絡会を開催。各地域での困りなどの状況共有を行う。保育コーディネーター・ペアレントメンターへも周知し、研修会を実施。
中部	大分・由布	88	年5回連絡会を開催。希望テーマに合わせ、専門分野のSVからの研修・報告を基に情報交換を行っている。
	臼津	20	年2回連絡会を開催。ECOALを訪問し、取り組みなどの説明を受ける。参加人数が少ない為、大分・由布の連絡会にも希望者は参加をしている。
南部	21	年4回連絡会を開催。その他、保育コーディネーターとの顔合わせや研修を実施。マルカフェが再開し定期的に行っている。	
豊肥	17	年4回連絡会を開催。各SVの所属の、利用方法や取り組み、制度等についての研修会や情報交換会を行う。茶話会形式にて、情報交換会を実施。	
西部	25	年5回連絡会を開催。SV派遣についての情報交換や、事例検討の持ち方について話し合う。ECOALに講師依頼し、研修会を実施。	
北部	29	年5回連絡会を開催(内2回学習会と併せて開催)。ペアレントメンター・保育コーディネーター・やさしさネットワーク等と連携。	
合計	251		

<収入の部>

科目	予算額	決算額	増減額	備考
15期登録料	360,000	348,000	-12,000	15期29名
更新会費	192,000	132,000	-60,000	13期(11名)
自閉症協会共催費	20,000	20,000	0	
雑収入	0	18,601	18,601	圏域活動費残り、利子、SV主催研修一般参加費、名刺代
前年度繰越金	1,053,817	1,053,817	0	
合計	1,625,817	1,572,418	-53,399	

<支出の部>

科目	予算額	決算額	増減額	備考
圏域活動費				
東部別府	20,000	20,000	0	お茶代、会場費等
東部国速杵	20,000	20,000	0	お茶代、会場費等
中部大分	40,000	40,000	0	お茶代、会場費等
中部臼津	20,000	20,000	0	お茶代、会場費等
南部	20,000	20,000	0	お茶代、会場費等
豊肥	20,000	20,000	0	お茶代、会場費等
西部	20,000	20,000	0	お茶代、会場費等
北部	20,000	20,000	0	お茶代、会場費等
郵送費	150,000	138,180	11,820	
HP管理費	62,880	62,550	330	
研修会・会場費	150,000	148,120	1,880	研修会会場費等
役員会旅費	0	0	0	
特別活動費	200,000	226,325	-26,325	圏域連絡会講師謝礼金 SVの会主催研修会講師謝礼
保険代	43,440	41,400	2,040	12カ月分
印刷・消耗品等	100,000	46,625	53,375	SVカード、受講証台紙等
その他・雑費	739,497	16,000	723,497	
合計	1,625,817	859,200	766,617	

1,572,418-859,200 = 713,218


差引残高 713,218円 は来年度である2024年度に繰り越します


監査報告

監査年月日 令和 6 年 3 月 22 日

監査場所 イコール

監査報告 2023 年度の大分県発達障がい者支援
専門員の会の活動並びに収支に関する
経理状況を調査した結果、証憑書
類の整備が適切に処理されていたこと
をここに報告します。

会計監査人 念川 正和 

水智 暁子 

令和6年度活動方針

1. 関係機関との連携

事務局である大分県発達障がい者支援センターECOALや大分県、大分県自閉症協会との連携はこれまで通りの関係性を継続し、圏域レベルにおいては地域の保育コーディネーターやペアレントメンター、相談支援事業所や教育関係等と連携することで、会としての組織だけではなく地域の中でも連携がスムーズにとれるよう取り組んでいきます。

2. 専門員（SV）のスキルアップ

会の主目的であるSV個々人のスキルの維持・向上については事務局であるECOALと連携し、SVの更新や更新ともリンクする研修会について企画発信していきます。また、これまで以上に会員の方々の意見を取り入れ、会員の方々が望む研修会作りを目指したいと考えます。

3. 派遣事業への取り組み

令和6年度も事務局である大分県発達障がい者支援センターECOALと連携し、県事業であるSV派遣事業に積極的に関わり、SVの認知度のさらなる向上とSV個々人のスキルアップにつなげていきたいと考えます。

4. 地域ネットワークの促進

圏域連絡会の活性化とSVそれぞれが所属する地域の中でネットワークの要となれるよう地域の関係者や関係機関との連携を深めていきたいと考えます。コロナ渦で停滞していた連携の形を再度構築し、地域の現状に則したSVとなれるよう会としても現場と連携を密にしながら取り組んでいきたいと考えます。

2024年度予算

< 収入 >

科目	予算額	備考
16期登録料	264,000	12,000円×22名
更新会費	828,000	12,000円×69名
自閉症協会共催費	20,000	自閉症協会より交流研修会費
前年度繰越金	713,218	
合計	1,825,218	

< 支出 >

科目	予算額	備考
圏域活動費		
東部別府	20,000	
東部国速杵	20,000	
中部大分	40,000	
中部臼津	20,000	
南部	20,000	
豊肥	20,000	
西部	20,000	
北部	20,000	
郵送費	180,000	郵送料値上げ見込みのため増額とする
HP管理費	62,550	
研修会費	150,000	継続研修・交流研修、zoom契約料等
特別活動費	200,000	圏域連絡会講師謝礼金・SVの会主催研修会講師謝礼
印刷・消耗品等	100,000	
保険代	43,440	3,620円×12カ月
役員会旅費	90,000	コロナ禍にて不支給としていたが今年度より支給再開とする
その他・雑費	819,228	学習教材等
合計	1,825,218	